

討論

今定例会最終日に、次のような討論が行われました。

議案第11号

反対

【日本共産党】

この改定で保険料基準額が月額390円値上がり、収入により利用負担限度額も上がる。

賛成

【無所属】

65歳以上の約9万5千人に及ぶ影響額は単年度で4億4千万円、3年間で約13億円となる。同額の基金残額を取り崩せば、値上げは不要である。

ガイドラインでは公募が原則だが、特殊な事情として非公募が認められた。公平性に欠くと制度が根付かなくなる恐れがあり、念頭に置くべき。

賛成

【自由民主党】

介護認定が無ければ利用できず、認定率は2割弱で「保険あつて介護無し」の現状。来年度も事業縮小の見込みである。給付充実や処遇改善を保険料に転嫁せず、公費負担増を国に求めるべき。

コロナウイルスやオリピック開催が重なり、難しい選択を迫られたことは理解する。事業者と市民にこれ以上の不利益が生じるのは望ましくないと考え、賛成する。

企業業績の悪化等により、前年度より減額の予算が編成された。子育て安心施設の設置は、子育て不安の解消、女性の社会参加に貢献するものと評価する。新型コロナウイルス感染症対策は、本

市独自の施策を迅速に対応すること期待される。GIGAスクール構想の加速化により、児童生徒1人に1台端末機が配置され情報活用能力の育成が期待される。ごみ処理経費削減や最終処分場の延命策を研究されたい。行政のデジタル化は、その効果を市民サービス向上につなげてもらいたい。100周年に向け、本丸御殿周辺の広場整備など、市長のリーダーシップの下、着実に諸事業を進められることを期待し賛成とする。

賛成

【無所属】

市政に関する一般質問

今定例会では、29名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針等について質問をし、必要に応じて市に對し意見や施策の提案をします。質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。



会派名 議員氏名
一般質問の表題 質問の順

問 (質問の要約)

答 (答弁の要約)
通告事項の要約



自由民主党 小高浩行
マスク育児の乳児期の影響

問 マスク着用に伴う育児について、特に乳児期に保護者のマスク着用が与える影響として、どのようなことが考えられるか。

乳児期の保護者のマスク着用は、乳児が保護者の声を聞き取りにくく、保護者の表情が乳児に伝わりにくいことが考えられ、マスク着用に伴う育児はコミュニケーションが取りにくく、言語発達等において何らかの影響があるのではないかと、専門家から見解が出てくる場所である。

答 保健医療部長 乳児期には目を合わせ語り掛けることで、安心感と親子の愛着が生まれ、また保護者の声を聞き、表情や口の動きを見てそのまねをすることが言葉の発達に大切と言われている。

専門家から見解が出てくる場所である。

反対

【無所属】

議案第32号

反対

【日本共産党】

議案第44号

構想の加速化により、児

を大切と言われている。

専門家から見解が出てくる場所である。